

南部・東部振興の主な取組

平成29年4月

目次

◇南部・東部振興関係の予算概要	1~3
◇訪れてみたくなる地域づくり(交流の促進)	4
(1)魅力を発見する、創る	5~7
(2)知ってもらう	8~9
(3)訪れてもらう、体験してもらう	10~14
◇住み続けられる地域づくり(定住の促進)	15
(1)働きやすくする	16~25
(2)暮らしやすくする	26~29
(3)いざという時に備える	30~34
(4)移り住んでももらう	35~36

◆南部・東部振興関係の予算概要(平成29年度当初予算)

(南部・東部振興関係)

平成29年度当初予算(平成28年度2月補正予算含む)

30,080百万円

(平成29年度当初予算 29,977百万円/平成28年度2月補正予算 103百万円)

(南部・東部振興のための取組の方向性)

※万単位で四捨五入しているため数値の合計は一致しません

1. 訪れてみたくなる地域づくり(交流の促進)

(1) 魅力を発見する、創る	973百万円
(2) 知ってもらう	1,381百万円
(3) 訪れてもらう、体験してもらう	12,794百万円

2. 住み続けられる地域づくり(定住の促進)

(1) 働きやすくする	5,147百万円
(2) 暮らしやすくする	1,979百万円
(3) いざというときに備える	22,164百万円
(4) 移り住んでもらう	230百万円

※各取組の方向性の予算案額は、再掲事業を含むため、上記当初予算案の額とは、一致しません

(主な南部・東部振興事業)

1. 訪れてみたくなる地域づくり(交流の促進)

(1) 魅力を発見する、創る 973百万円

「なら四季彩の庭」づくり(53)

京奈和自転車道の整備(420) など

(2) 知ってもらう 1,381百万円

奥大和プロモーション[認知交流促進事業](205)

首都圏や関西圏等でのプロモーション(526)

外国人観光客へのプロモーション(57) など

(3) 訪れてもらう、体験してもらう 12,794百万円

スポーツイベントの開催(228)

地域資源を活用したイベントの開催(361)

路線バス等を活用した誘客の促進(20)

各種連携による誘客促進の仕掛けづくり(259) など

2. 住み続けられる地域づくり(定住の促進)

(1) 働きやすくする 5,147百万円

- 農産物等のブランド化・生産拡大の推進(1,918)
- 林業・木材産業の推進(1,335)
- 漢方のメッカ推進(34)
- 中南和振興のための企業集積地の形成(63)
- 地場産業の振興(65) など

(2) 暮らしやすくする 1,979万円

- 南和地域の医療体制の充実(427)
- 地域包括ケアシステムの構築(48)
- 買い物・通院等の移動手段の確保(325)
- へき地教育の充実(11)
- 文化の振興(10) など

(3) いざというときに備える 22,164百万円

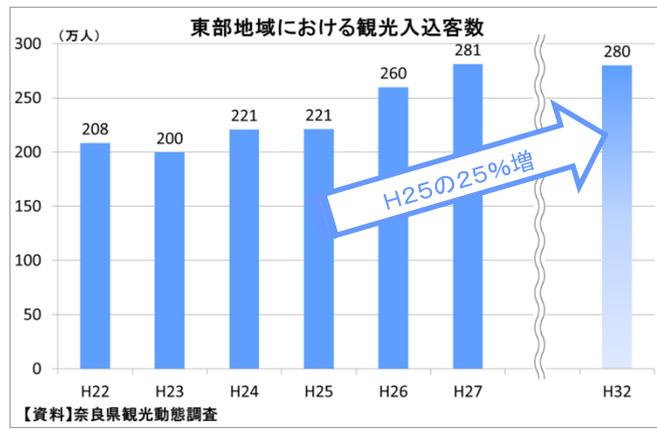
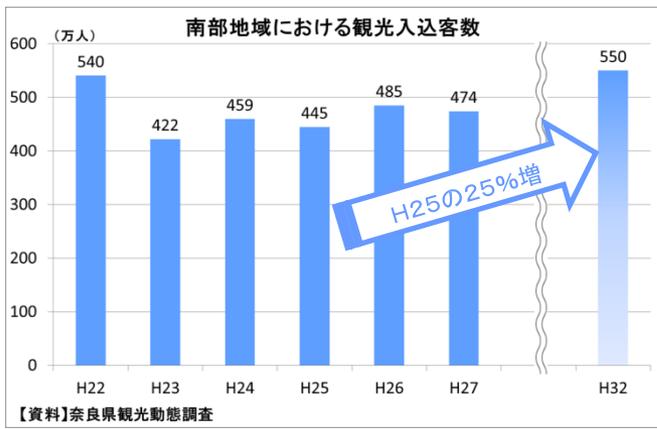
- 紀伊半島アンカールートの整備(6,365)
- 土砂災害対策の推進と山地災害の予防と復旧(5,214)
- 陸上自衛隊駐屯地の誘致(30)
- 多様な再生可能エネルギー等の普及拡大(130) など

(4) 移り住んでもらう 230百万円

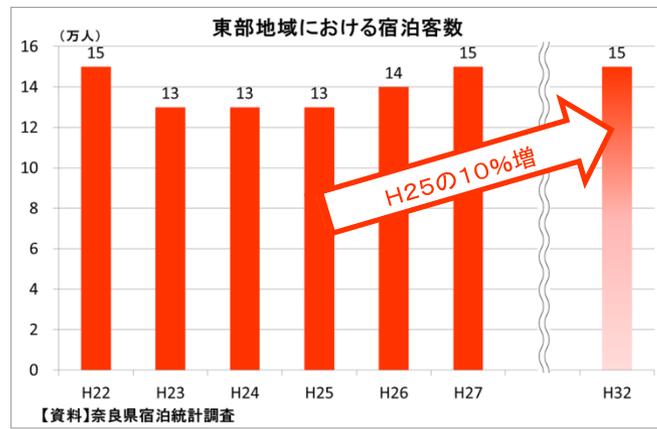
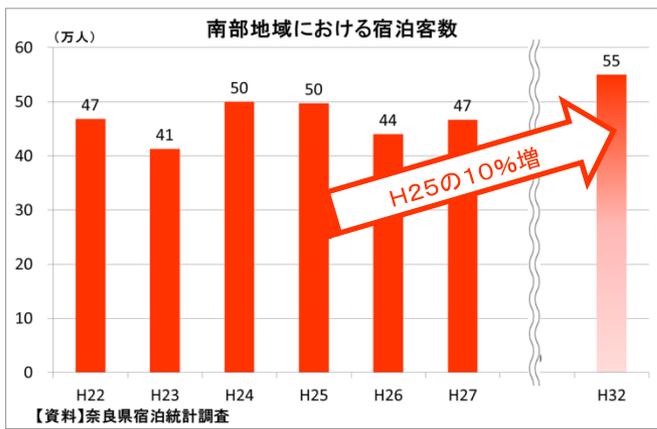
- 二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくり[移住定住促進事業](19)
- 地域事業所等への創業支援[雇用創造促進事業 ほか](39)
- 地域おこし協力隊等の推進(17) など

訪れてみたくなる地域づくり(交流の促進)

- 【目標】**
- 平成32年の観光入込客数を南部地域で550万人、東部地域で280万人にします。
 - 平成32年の宿泊客数を南部地域で55万人、東部地域で15万人にします



Kobo Trail 2016
【K to K】スタート時
平成28年5月22日



WSMA(アーティストインレジデンス事業)
(宇陀市「奈良カエデの郷 ひらら」)
平成28年5月14日～15日

(1) 魅力を発見する、創る 特色ある食と宿泊施設等の整備推進

【目標】

○特色ある観光基盤の整備を推進し、南部・東部地域の魅力を向上させます。

◇取組内容

○特色ある食と宿泊施設等の整備を推進します。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

- 各町村とオーベルジュ推進についての打合せ会を実施
(曾爾村、大淀町、天川村、野迫川村、御杖村)
 - ・オーベルジュ設置場所の検討(新設または改修)
 - ・推進体制及び運営の方向性の検討(既存の施設との一体的運営など)
- 各町村のオーベルジュの整備基本計画の策定を支援
(曾爾村、大淀町、天川村、野迫川村、御杖村)

【今後の主な取組】

- ・オーベルジュの実施設計に関する支援(② 500千円)
- ・NAFIC周辺のにぎわいづくりの整備等(② 552,400千円)

【上記取組に対する成果目標】

- 平成31年度に新たなオーベルジュの運営開始
- 平成32年度にNAFICや本事業に係る地域への来訪者について現行の2万人から6万人に増加



(1) 魅力を発見する、創る

地域資源を活用した魅力づくり

【目標】

○特色ある観光基盤の整備を推進し、南部・東部地域の魅力を向上させます。

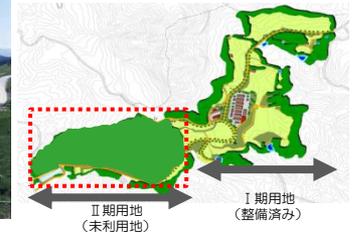
◇取組内容

○地域資源を活用した魅力づくりを推進します。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

- みつえ高原牧場に係る基本構想の策定に向け、設計コンサルタントと業務委託契約を締結(5月)
- 地域活性化に向けた基本構想を検討
 - ・御杖村へ観光振興、農業振興について現状と今後の意向を聴取(6月)
- 生産者からの意見聴取(畜産団地運営方法等の検討)
- 県と村が「まちづくり」に関する包括協定を締結(9月)



みつえ高原牧場



地域振興施設(案)(レストラン・物販施設)
イメージ図

【今後の主な取組】

- ・みつえ高原牧場を活用した畜産及び地域振興施設の整備について再検討し、基本計画を策定 (29) 8,000千円)

【上記取組に対する成果目標】

- 平成32年度までに、畜産生産額を68億円に増加(平成27年:62億円)

(1) 魅力を発見する、創る 多様なスポーツ施設の整備

【目標】

○特色ある観光基盤の整備を推進し、南部・東部地域の魅力を向上させます。

◇取組内容

○多様なスポーツ施設の整備として、京奈和自転車道の整備を進めます。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

- 京奈和自転車道における整備形態の決定
- 河川堤防を活用した自転車歩行者専用道路の整備推進
(大和郡山市・佐保川)
- 既存の大規模自転車道の舗装修繕
(大和郡山市、川西町、広陵町、大和高田市等)
- 京奈和自転車道のルート検討及び設計
(御所市、五條市、大淀町等)



(大和郡山市内)



(五條市内)

【整備イメージ】

【今後の主な取組】

- ・地質調査、用地測量、設計等 (②9 100,000千円)
- ・舗装修繕、路面表示、道路改築等 (②9 320,250千円)

【上記取組に対する成果目標】

○平成32年までに京都府の嵐山から和歌山県の和歌山港まで貫く広域周遊自転車道を整備

(2)知ってもらう 情報発信の強化

【目標】

- 観光客数を増やすとともに南部・東部地域のファンを増やすため、地域の情報発信を強化します。

◇取組内容

- 奥大和の情報発信を積極的に行います。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

- 旅行雑誌「じゃらん」へ広告掲載
・関西・中四国版 8月号・1月号
- スマートフォンアプリ「週刊じゃらん」特集ページ(8月号・1月号)の制作・配信
- 大手百貨店による連携プロモーションを実施
・「全国手技工房展」開催(6月15～21日 於 阪神百貨店)
- 健康ランド、マルシェでのプロモーションの実施



全国手技工房展



じゃらん1月号

【今後の主な取組】

- ・奥大和地域の情報を大手旅行雑誌や旅行サイト等にて発信(②9 14,922千円)
- ・大手百貨店において移住情報を発信(②9 2,640千円)
- ・大手飲食店との連携により地域食材や特産品を活かした「食」のプロモーション実施(②9 3,300千円)

【上記取組に対する成果目標】

- 移住サイト「奈良に暮らす」アクセス数:年間500,000回(H27実績:461,013回)

(2) 知ってもらう 情報発信の強化

【目標】

○観光客数を増やすとともに南部東部地域のファンを増やすため、地域の情報発信を強化します。

◇取組内容

○奥大和の情報発信を積極的に行います。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

- 奈良県観光ホームページをリニューアル(あをによし奈良旅ネット)
- 首都圏において旅行商品説明会・商談会を実施
- 首都圏シンポジウム「桜とともに生きる」(於: 虎ノ門ヒルズ)の開催 等



首都圏シンポジウム
「桜とともに生きる」



奈良県観光キャンペーン
商談会

【今後の主な取組】

- 新** 金峯山寺での吉野歌舞伎開催等社寺と連携した文化芸術イベントによる観光誘客(29) 311,000千円)
- ・オフシーズン対策として、地元交通業者及び地元地域と連携したキャンペーンを実施(29) 21,996千円)

【上記取組に対する成果目標】

○平成31年までに、観光入り込み客数を4,200万人にする (平成27年実績: 4,146万人)

(3)訪れてもらう、体験してもらう スポーツイベントの開催

【目標】

○観光客数を増やすため、オフシーズンのイベントの開催や、おもてなしの向上などを進めます。

◇取組内容

○奥大和地域の地勢を活かしたスポーツイベントの開催を支援します。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

○「アウトドアチャレンジレース」の開催支援(5月21日～22日)

参加者:延べ332名

【アウトドアチャレンジレース】 参加者:19名

・カヌーとハーフマラソンの両競技に参加しポイントを競うレース

【川上村カヌー】(21日) 参加者:60名

・タイムトライアル、カヌー体験教室等

【上北山村マラソン】(22日) 参加者:253名

・大台ヶ原ハーフマラソン

○自転車イベント開催支援

「山岳グランfondin吉野」(7月3日)参加者:564名

「ヒルクライム大台ヶ原since2001」(9月11日)参加者:789名

「ツアー・オブ・奈良・まほろば」(9月18日)参加者:411名(雨天)

○「南和スポーツフェスタ2016」の開催(10月16日)参加者:約1,000名



アウトドアチャレンジレース



南和スポーツフェスタ2016



ツアー・オブ・奈良・まほろば

【今後の主な取組】

・サイクルスポーツイベント開催支援事業(⑳ 9,100千円)

・南部地域スポーツイベント開催事業(㉑ 4,032千円)

【上記取組に対する成果目標】

○平成32年度までに新たなイベントに対する支援を20件にする

(3)訪れてもらう、体験してもらう

スポーツイベントや地域資源を活用したイベントの開催

【目標】

- 観光客数を増やすため、オフシーズンのイベントの開催や、おもてなしの向上などを進めます。

◇取組内容

- 奥大和地域の地勢を活かしたスポーツイベントの開催支援します。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

- 弘法大師の道を活用したトレイルランニングレース「Kobo Trail 2016」の開催(5月21日～22日)
 - ・KtoK(金峯山寺～金剛峯寺) 55.7km 参加者 116名(男性88名、女性28名)
 - ・DtoK(洞川温泉～金剛峯寺) 43.2km 参加者 83名(男性48名、女性35名)
- 地域の特色を活かしたイベントを支援
 - ・スペシャルステージ曾爾クラシック(5月21日・22日)
 - ・間瀬ちがやさんと走るトレイルinみつえ(6月4日・5日)
 - ・和佐又山フェスティバル(8月11日・12日)
 - ・小辺路TRAIL JOURNEY(10月16日)
 - ・大淀町秋の番茶まつり(10月22日～11月20日)



Kobo Trail 2016



和佐又山フェスティバル(上北山村)

【今後の主な取組】

- ・弘法大師の道を活用したトレイルランニングレースの開催(② 1,536千円)
- ・市町村で実施する特色を活かしたイベントの開催等を支援(② 5,000千円)
- ・スポーツのメッカづくり(② 148,598千円)

【上記取組に対する成果目標】

- 各自治体(奥大和エリア19市町村)で新たなイベントを1つ実施

(3)訪れてもらう、体験してもらう 音楽・芸術イベントの開催

【目標】

○観光客数を増やすため、オフシーズンのイベントの開催や、おもてなしの向上などを進めます。

◇取組内容

○奥大和地域の特色を活かした音楽・芸術イベントを開催します。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

○奥大和の特色を活かしたイベントを開催

・アーティスト・イン・レジデンス(アーティストが一定期間滞在しながら芸術作品を制作)

WSMA～ワズマ～(5月14日～15日・11月5日～13日)

(於 宇陀市菟田野 カエデの郷 ひらら)

来場者数 5月 延べ 1,380人

11月 延べ 2,045人

・奥大和ゆうゆう祭(10月1日～2日、吉野町)

来場者数 延べ 3,600人

・えんがわ音楽祭 in 洞川(9月24日～25日)

来場者数 延べ 1,144人



WSMA(アーティストインレジデンス事業)
(宇陀市「奈良カエデの郷 ひらら」)



奥大和ゆうゆう祭(吉野町)



えんがわ音楽祭 in洞川(天川村洞川)

【今後の主な取組】

・奥大和ゆうゆう祭や洞川温泉街での音楽祭などの特色あるイベントを開催(29 12,613千円)

【上記取組に対する成果目標】

○平成32年の観光入込客数を830万人(南部550万人、東部280万人)にする(平成27年度:755万人(南部474万人、東部281万人))

(3)訪れてもらう、体験してもらう 交通アクセスの支援

【目標】

○観光客数を増やすため、オフシーズンのイベントの開催や、おもてなしの向上などを進めます。

◇取組内容

○路線バスを活用した奥大和地域への誘客促進のため、交通アクセスの支援を行います。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

- 路線バス運賃キャッシュバックキャンペーンを実施
奥大和地域の対象宿泊施設に宿泊する際、対象路線の路線バス運賃を補助(10/10補助)
- ・平成28年12月～29年3月(宿泊業オフシーズン)の期間で実施
- ・利用者数:往復延べ約10,600人 利用額:約2,689千円
(平成28年12月1日～平成29年3月31日分)



【今後の主な取組】

新 路線バスを活用し南部・東部地域等へオフシーズンに来訪した宿泊観光客のバス運賃を補助(時期未定) (29) 20,000千円)

【上記取組に対する成果目標】

○路線バス運賃キャッシュバックキャンペーン利用者数を4,600人(往復延べ9,200人)にする

(3)訪れてもらう、体験してもらう 誘客促進の仕掛けづくり

【目標】

○観光客数を増やすため、オフシーズンのイベントの開催や、おもてなしの向上などを進めます。

◇取組内容

○スポーツ・文化活動などの交流による誘客の仕掛けづくりを行います。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

- 南部・東部地域で学生が行う合宿を支援
 - ・平成28年12月～29年3月(宿泊業オフシーズン)の期間で実施
 - ・利用者数:延べ約834人泊 利用額:約510,000円
(平成28年12月1日～平成29年1月31日分)
- 近鉄と連携し、奥大和地域の魅力を発信する観光ツアーを実施
 - ・夏開催地:野迫川村・曾爾村・川上村(6～7月、団体旅行)
 - ・秋開催地:吉野町・天川村・十津川村(9～10月、団体旅行)
 - ・冬開催地:天川村・十津川村(12～3月、個人旅行)



カヌー体験(川上村)



ヨガ体験(十津川村)

【今後の主な取組】

- ・近畿日本鉄道と連携し、奈良県奥大和地域の魅力を発信する個人旅行を造成 (29) 10,000千円)

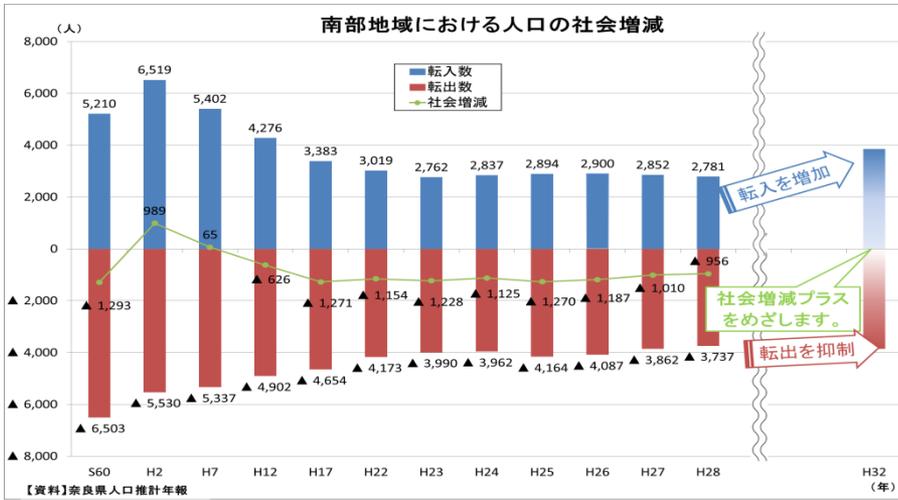
【上記取組に対する成果目標】

○平成32年の観光入込客数を830万人(南部550万人、東部280万人)にする(平成27年度:755万人(南部474万人、東部281万人))

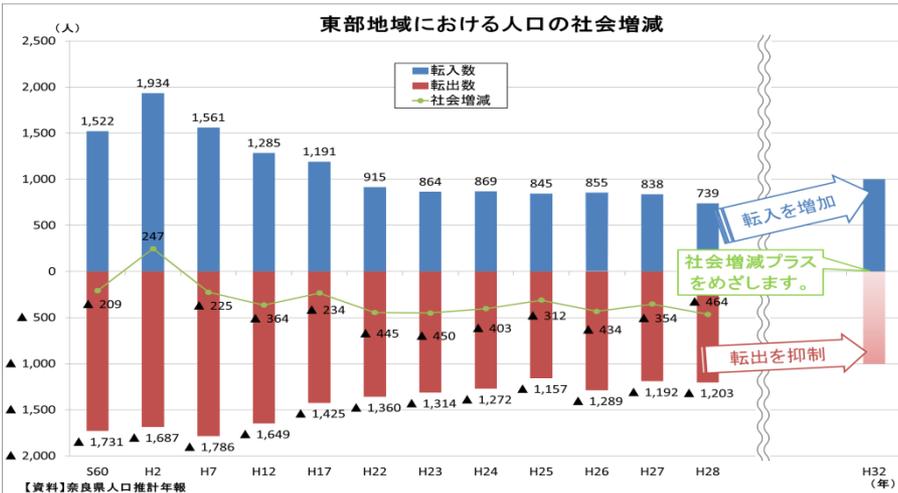
住み続けられる地域づくり(定住の促進)

【目標】

- 平成32年の人口の社会増減を南部・東部地域ともにプラスにします。



キッチンカーによる地域食材PR活動



奥大和移住定住交流センター「engawa」
(奈良県橿原総合庁舎前)
平成28年4月17日開設

(1)働きやすくする 農産物等のブランド化・生産拡大の推進

【目標】

○働く場所を増やすため、農林業の振興や企業誘致などを進めます。

◇取組内容

○農産物等のブランド化・生産拡大を推進します。【川上の取組】

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

○品質による農産物のブランド認証制度の推進

- ・農畜水産物ブランド認証推進協議会の開催(6月、9月、11月)
- ・名称・シンボルマークの決定「奈良県プレミアムセレクト」
シンボルマークは公募(応募実績:384点)し、ブランド認証協議会で協議の上決定

- ・取組5団体を認証し、柿・イチゴが、首都圏等で販売開始(12月～2月)
- ・大和牛枝肉共励会にて認証基準を満たす10頭を初認定(12月)

○チャレンジ品目、リーディング品目等への支援

- ・技術向上のための展示園を設置(味間いも、黄金まくわ、黒滝白キュウリ、下北春まな、サクランボ、有機野菜)
- ・切り花ダリア:小売店との連携による効果的な日持ち処理方法実証(6月)
- ・イチゴ:果実品質のバラツキ低減に向けた低温管理技術の展示園設置(9月)
- ・内水面漁業への理解を深めるための鮎釣り教室開催(7月、30名参加)
- ・アユ:生まれも育ちも奈良の鮎(やまとの鮎)の販売(8月～11月:153尾)
- ・アマゴ:産卵場造成、卵及び親魚の放流(10月～12月)

○水稻に代わる高収益性作物の導入

- ・展示園設置(5月～、5か所、4品目:加工用キャベツ、エダマメなど)
 - ・外部有識者による検討会開催(6月、12月)(加工業務用野菜作付け推進について検討)
- 内水面漁業への支援体制の検討
- ・奈良県水産業支援体制検討会開催(4月、5月、7月、10月)
 - ・水産業実態調査(養殖業者、漁業協同組合へ将来像と必要とする取組について調査)(5月)



首都圏の高級果実店に並ぶ奈良県プレミアムセレクト認証の柿



環境にやさしい農産物販売フェア



【今後の主な取組】

- ・奈良県農畜水産物ブランド認証を推進(②9 11,734千円)
- ・チャレンジ・リーディング品目及び水稻に代わる高生産性作物導入の推進(②9 14,432千円)
- ・やまとの鮎生産拡大(②9 1,380千円)

【上記取組に対する成果目標】

- チャレンジ品目(大和野菜、サクランボ、切り花ダリア、切り枝花木、有機野菜、イチジク、鮎)の生産額を平成32年度には20億円を目指す
- リーディング品目(柿、キウ、イチゴ、茶、大和畜産ブランド、金魚)の生産額を平成32年度には136億円を目指す

(1)働きやすくする 農産物等のブランド化・生産拡大の推進

【目標】

○働く場所を増やすため、農林業の振興や企業誘致などを進めます。

◇取組内容

○農産物等のブランド化・生産拡大を推進します。【川下の取組】

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

○首都圏への県産農産物の配送

- ・首都圏量販店で県産農産物PRイベントを実施(4月、1月)
- ・事業周知、出荷者募集のための事業説明会、出荷希望者の募集(5月)
- ・首都圏市場関係者に対し、県産農産物のセールスをプレゼン形式で実施(5月、1月)

(首都圏での大和野菜等を取り扱う業者17業者、3月末時点)

○大和野菜等県産農産物の売り込み

- ・県産農産物を利用したメニュー開発に向けた、県内、関西圏、首都圏のホテル、飲食店等実需者へのサンプル提供(27箇所、33品目)



首都圏量販店での
県産農産物PRイベント



飲食店が開発したメニュー例
(大淀町産梨を使ったスムージー)

【今後の主な取組】

- ・首都圏市場でのセールス強化(②9 11,000千円)
- ・大和野菜等県産農産物実需売り込み(②9 1,800千円)

【上記取組に対する成果目標】

- 首都圏での大和野菜等県産農産物を取り扱う仲卸業者数を平成31年度までに19業者に増加
- 県産農産物の地産地消レストランを平成29年度までに20店舗以上に増加

(1)働きやすくする 農産物等のブランド化・生産拡大の推進

【目標】

○働く場所を増やすため、農林業の振興や企業誘致などを進めます。

◇取組内容

○農地の有効活用への支援、意欲ある農業の担い手の育成を行います。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

○農業新規参入者の育成支援

・NAFICの事前研修や先進農家での実践研修を実施

28年度研修生7名のうち、南部・東部地域で3名研修中

・青年就農給付金により、研修生の就農準備及び新規就農者の営農定着を支援

平成27年度独立自営就農者32名のうち、南部・東部地域は12名

○農地マネジメントの推進

・県、なら担い手・農地サポートセンター、市町村、農業委員会をメンバーとする農地マネジメントチームにより、担い手への農地のマッチング活動を実施

南部・東部地域で12.3haのマッチングを実施(3月末時点)



農業新規参入者の研修



農地の貸し借り(マッチング)を実施する
農地中間管理事業制度をPR

【今後の主な取組】

・農業新規参入者の支援(② 8,700千円)

・新規就農者の確保(② 267,131千円)

・農地マネジメントの推進(② 109,417千円)

【上記取組に対する成果目標】

○新規就農者を毎年60名ずつ増加

(1)働きやすくする 農産物等のブランド化・生産拡大の推進

【目標】

○働く場所を増やすため、農林業の振興や企業誘致などを進めます。

◇取組内容

○総合的な鳥獣害対策を推進します。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

○総合的な被害対策の支援

- ・平成27年度被害状況調査(4月～6月)
- ・若手狩猟者確保育成事業実行委員会開催、各種活動実施(4月～)
- ・国交付金、県補助金事業実施(各市町村で有害鳥獣捕獲を実施)
- ・人材育成のための講習会開催(8月～3月)

○個体数調整

- ・森林被害緊急対策広域協議会を開催し、シカ捕獲事業実施(7月)
- ・ニホンジカ個体数推定および現地調査(9月～3月)
- ・(第6次)ニホンジカ・(第4次)イノシシ第二種特定鳥獣管理計画の策定(平成29年4月～5カ年計画)



ゆうゆう祭出店
(ジビエ料理の提案)



狩猟体験ツアー
(野迫川村)



ジビエ料理試食



人材育成
(座学)



捕獲現地講習



ハンティングサークル
活動報告
(イオンモール榎原)

【今後の主な取組】

- ・鳥獣被害防止対策の支援(②9 342,489千円)
- ・鳥獣被害防除(②9 16,700千円)
- 新** 若手狩猟者の確保・ジビエ供給推進(②9 1,223千円)

【上記取組に対する成果目標】

○有害獣であるニホンジカを平成29年には、年間10,000頭捕獲(平成27年度実績8,496頭)

(1)働きやすくする

「全ての材を出して使う」林業・木材産業の推進

【目標】

○働く場所を増やすため、農林業の振興や企業誘致などを進めます。

◇取組内容

○「全ての材を出して使う」林業・木材産業を活性化します。【川上の取組】

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

- 第1種木材生産林(大規模集約化施業団地)への支援
 - ・新規団地の認定(1箇所・黒滝村)
- 儲かる施業森林の掘り起こしと施業提案
 - ・施業提案チームによる施業提案森林の掘り起こし、候補森林の現地調査を実施(12箇所・4市村)
(奈良市・天理市・御所市・宇陀市)
 - ・施業提案森林において木材生産を実施(7団地・7市村)
(奈良市・桜井市・五條市・御所市・明日香村・上北山村・十津川村)
- 森林環境管理制度モデル地区調査業務委託にてモデル地区の候補地調査を実施
- 奈良県フォレスト・アカデミー構想策定に向けた、他府県の事例調査等を実施



高性能林業機械による造材作業の効率化(十津川村)



儲かる林業施業プランの森林所有者への説明(桜井市)

【今後の主な取組】

- ・第1種木材生産林(大規模集約化施業団地)への支援を実施(㊤ 310,857 千円)
- ・A・B・C材全ての材に対して搬出補助を実施(㊤ 40,200千円)
- ・県職員からなる施業提案チームによる施業提案森林の掘り起こしと素材生産業者とのマッチング(㊤ 4,652千円)

【上記取組に対する成果目標】

- 「人材育成」・「実践」・「研究」の三位一体の展開による森林環境管理制度の導入と本格運用
- 平成29年度に、儲かる林業施業提案森林及び第1種木材生産林からの木材生産量を、18千 m^3 に増加

(1)働きやすくする

「全ての材を出して使う」林業・木材産業の推進

【目標】

○働く場所を増やすため、農林業の振興や企業誘致などを進めます。

◇取組内容

○「全ての材を出して使う」林業・木材産業を活性化します。【川中の取組】

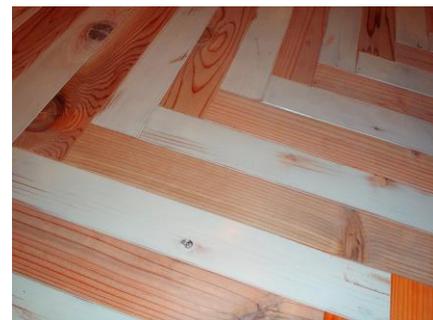
◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

- 大規模製材工場と川上(山側)との安定取引契約の実現
 - ・大規模製材工場と川上(山側)との安定取引契約の締結(1件)
 - ・大規模工場安定取引会議の開催(1回・6月)
- 「産直住宅」の取り組み拡大
 - ・産直住宅推進会議の開催(10月)
 - ・コーディネーターの雇用に対する人件費補助
- 木質バイオマス発電所への原木供給状況の把握・助言
 - ・協議会を通じて原木供給状況を把握
- 木質バイオマスエネルギーの利活用拡大
 - ・木質バイオマス利活用施設整備支援(木質ペレット製造施設、燃料用チップ加工施設)
- ユーザーニーズを踏まえた新製品の開発・商品化
 - ・森林技術センターの技術シーズを活用した新製品開発(3件)
 - ・民間企業との共同研究による新製品開発・商品化の検討(1件)



木質バイオマス発電所



新たなデザインを取り入れた
杉フローリング部材

【今後の主な取組】

- ・競争力のある製材・加工・流通体制の構築に向けた取組(②9 1,531千円)
- ・木材加工施設の近代化・効率化を支援(②9 42,050千円)

【上記取組に対する成果目標】

○平成29年度までに、大規模製材工場と川上(山側)との安定取引契約を5件締結

(1)働きやすくする

「全ての材を出して使う」林業・木材産業の推進

【目標】

○働く場所を増やすため、農林業の振興や企業誘致などを進めます。

◇取組内容

○「全ての材を出して使う」林業・木材産業を活性化します。【川下の取組】

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

○県産材PR活動の推進

- ・PR戦略検討ワーキンググループ会議の開催(4回)
- ・奈良の木ポータルサイトの整備

○奈良の木の魅力を発信する人材の育成

- ・「奈良の木の匠養成塾」の開催(4回・6月、7月)
- ・高校生「奈良の木」部開催(8月19日)
- ・首都圏の学生を対象とした「奈良の木大学」の開講(8月2日～5日)

○奈良の木を使用した木育を推進

- ・奈良の木学習機の導入を実施する市町村への補助(5町村)
- ・県産材の積み木贈呈を実施する市町村への補助(7市町村)

○首都圏等や海外での販路開拓の推進

- ・HOUSE VISION(東京、7月30日～8月28日)への出展
- ・首都圏の木材市場での県産材PRの実施(9月1日,11月5日,11月9日)
- ・(株)TSUTAYAと県産材利用拡大に向けた連携協力協定締結(9月21日)
- ・木材輸出に特化した海外販路開拓セミナーの開催(7月14日)

○公共建築物への利用推進

- ・「県庁エレベーターホール」の内装木質化(11月)

○一般住宅等への県産材利用推進

- ・県産材を使った住宅の新築・リフォーム等への助成(延べ219件)

○県産材を利用した暮らしの道具、土産物、贈り物の開発・商品化

- ・奈良の木を使用した贈り物の開発(8件)

○森林への理解を深める奈良の木ツーリズムの推進

- ・奈良らしい森林ツーリズム検討
- ・奈良の木ツアー開催(明日香村)(10月)



奈良の木大学(製材所視察)



首都圏での県産材PR
(HOUSE VISION)

【今後の主な取組】

- ・首都圏等への県産材販路拡大(② 26,220千円)
- ・海外への県産材販路拡大(② 6,876千円)

【上記取組に対する成果目標】

- 平成29年度に、公共事業や公共建築物での県産材使用量を7千m³に増加
- 平成29年度に、県産材の自給率を62%まで向上

【担当部局】 農林部

(1)働きやすくする 企業誘致の促進・地域の産業興し

【目標】

○働く場所を増やすため、農林業の振興や企業誘致などを進めます。

◇取組内容

○企業誘致の推進及び起業の促進を図ります。【制度融資を含む】

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

○企業立地促進資金や創業支援資金(南部・東部枠)等の制度融資の運用・周知

- ・金融機関融資担当者等向け説明会(4月)
- ・県内市町村金融担当課長会議での説明及び周知(4月)
- ・包括連携協定締結先企業の小売店舗へのパンフレットの配置
- ・創業セミナー等に職員が出向いて説明
- ・工場団地内の個別企業に出向いてPR

○企業立地の促進

- ・南部東部地域に立地する企業に対し、補助金を加算して誘致を促進(補助加算適用2事業)

○中南和振興のための産業集積地の形成を推進

- ・用地買収に向けた調整



奈良県南部・東部地域で **創業!!**
奈良県制度融資の創業支援資金【南部・東部枠】で
利子・保証料が **0%**
元金返済だけでイーンです
奈良県南部・東部地域で **創業したい!**
■創業支援資金の南部・東部枠を利用
※奈良県南部・東部地域とは、以下の市町村をさします
○奈良県南部地域計画の対象地域
…吉野市、吉野町の町村、朝原町、高取町、明日香村
○奈良県東部地域計画の対象地域
…宇陀市、山辺町、高市町、御杖村
お問い合わせ
○奈良県 地域振興課
074-227-5337
無利子・無保証料の融資措置を受けるためには
奈良県加算認定が必要ですが
知事認定には、**商業にかかる認定支援期間の支援をうけた上で**
地域産業課への申込みが必要です

創業支援資金
(南部・東部枠)



宿泊施設増改築・設備整備支援資金
活用事例(所在地:吉野町)



京奈和自動車道御所IC周辺

【今後の主な取組】

- ・企業立地促進資金の継続実施(㉑ 融資枠 2,000,000千円)
- ・創業支援資金(南部・東部枠)の継続実施(㉑ 融資枠 200,000千円)
- 新** チャレンジ応援資金(小規模企業枠)の新設(㉑ 融資枠 1,000,000千円)
- ・宿泊施設増改築・設備整備支援資金(㉑ 融資枠 600,000千円)等の継続実施
- ・引き続き、南部東部地域に立地する企業に対する加算金を講じるにより企業誘致を推進(㉑ 900,000千円(補助事業全体))
- ・中南和地域における産業振興と雇用機会の創出のため、産業集積地の形成に向けた取組を引き続き実施(㉑ 63,200千円)

【上記取組に対する成果目標】

○H29目標:創業支援資金(南部・東部枠)の活用事例の増加 (㉑1件、㉒0件)

(1)働きやすくする 地域の産業興し

【目標】

○働く場所を増やすため、農林業の振興や企業誘致などを進めます。

◇取組内容

○地域の産業興しを支援します。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

- 南部・東部振興物産販売促進の支援(平成27年度～)
 - ・県外物産展の開催又は出展に対する支援
 - ・地域のちからコレクション2016(東京)へ共同出展(10月)
(御所市・御杖村・明日香村・吉野町・大淀町・下市町・黒滝村
・天川村・野迫川村・十津川村・上北山村・川上村・東吉野村)
 - ・南部・東部地域の市町村の県外物産展への単独出展(10市町村のべ17回)



「地域のちからコレクション2016」
の出展風景(東京都新宿区)



「全国ふるさと県人会まつり」
の出展風景(愛知県名古屋市)

【今後の主な取組】

- ・県外での物産展開催又は出展の継続支援(⑳ 7,800千円)

【上記取組に対する成果目標】

- 市町村が開催又は出展する物産展数が前年度よりも増加 (㉑13回、㉒18回)

(1)働きやすくする 地域の産業興し

【目標】

○働く場所を増やすため、農林業の振興や企業誘致などを進めます。

◇取組内容

○新商品開発、販路拡大等により地域を活性化します。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

○県産スギ材によるバイオリン開発

- ・県産スギ材を用いたバイオリン制作を委託(6月)
- ・「県産スギ材によるバイオリン開発プロジェクト会議」の開催(8月・3月)
- ・完成及び完成披露演奏会(3月)

○木材の利用、森林・林業の試験研究及び技術開発

- ・里山林の循環利用に関する実践的研究ほか8課題について調査・研究を継続的に実施



県産スギ材バイオリン



里山林の循環利用に関する実践的研究 繊維ロープウインチ等を利用した簡易集材法の検討

【今後の主な取組】

- ・木材の利用・森林林業の試験研究及び技術開発事業(森林技術センター)(29 24,738千円)

【上記取組に対する成果目標】

○平成32年までに木材生産量を25万m³に増やします

(2)暮らしやすくする 健康・医療・福祉・介護の充実

【目標】
○健康・医療・福祉・介護の充実などを進め、南部・東部地域で「住みたい」「住みやすい」と思う人の割合を増やします。

◇取組内容

○住み慣れた地域で暮らし続けるために地域包括ケアシステムの構築を推進します。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

○モデルとなる市町村の取組を補助金やノウハウの提供等により支援

- ・地域包括ケアシステム構築に向けた全体構想の策定(川上村)
- ・介護予防リーダーの主体的な活動に対する支援等の実施(大淀町)
- ・誤嚥性肺炎の予防に向けた口腔ケアパスの作成(吉野町)
- ・生活支援体制整備に向けた協議体の設置等(吉野町、下市町)
- ・地域づくりによる介護予防(住民運営の通いの場の充実等)の推進(五條市、宇陀市、下市町、山添村)

○保健所のコーディネートによる在宅医療・包括ケア推進プロジェクトの実施

- ・市町村、医療・介護関係者と多職種連携を推進するための会議、研修会等を開催し、課題の抽出や解決策の検討を実施



地域包括ケア取組状況発表会
市町村職員による意見交換の
様子(奈良県産業会館)

退院調整ルールづくり
東和医療圏ケアマネ会
議の様子(中和保健所)



【今後の主な取組】

- ・地域包括ケアシステム構築の推進(⑳15,250千円)
- 新** 市町村生活支援・介護予防体制構築支援の推進(⑳15,812千円)

【上記取組に対する成果目標】

○平成31年度までに、居宅で介護サービスを受ける高齢者の割合を84%まで上げることを目指す(平成27年度は81.8%)

(2)暮らしやすくする 健康・医療・福祉・介護の充実

【目標】

○健康・医療・福祉・介護の充実などを進め、南部・東部地域で「住みたい」「住みやすい」と思う人の割合を増やします。

◇取組内容

○へき地医療の充実を図ります。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

- 大阪府・和歌山県・三重県ドクターヘリの共同利用
- 第1回ドクターヘリ運航調整委員会開催(5月18日)
- 運航委託事業者の選定(7月6日)
- 第2回(8/3)、第3回(10/26)ドクターヘリ運航調整委員会開催
- 消防向け説明会(12/19、12/26)
- 消防機関との実動連携訓練(平成29年2月下旬～)
- 奈良県ドクターヘリの運航開始(平成29年3月21日)



ドクターヘリ

【今後の主な取組】

- ・県立医科大学附属病院のヘリポート整備に対し補助(②9 489,801千円)
- ・奈良県ドクターヘリの運航にかかる経費に対し補助(②9 259,132千円)

【上記取組に対する成果目標】

- 重篤患者に対し医師による初期治療開始までの時間短縮

(2)暮らしやすくする 教育の充実

【目標】

○教育・子育ての充実などを進め、南部東部地域で「住みたい」「住みやすい」と思う人の割合を増やします。

◇取組内容

○教育、子育ての充実を図ります。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度まで>

- 地域産業を支える人材の育成に必要な備品の整備
(吉野高等学校:林内作業車、十津川高等学校:木工作業機器)
- 全国募集を行う県立高校の部活動の支援
 - ・対象校:御所実業高等学校(ラグビー部)
榛生昇陽高等学校(自転車競技部)
十津川高等学校(ボート部)
山辺高等学校(馬術部・ライフル射撃部)
- ICTを活用した効果的な遠隔合同学習の実施
 - ・五條市、曾爾村、御杖村、川上村、東吉野村をモデル地域に指定し、モデル地域の6小学校において、各校3教科等で遠隔合同学習を実施し、効果的な指導法の開発及び学習効果を検証
 - ・公開授業の実施
 - ・実証研究委員会の開催



林内作業車(吉野高校)



ICTを活用した遠隔合同学習
(曾爾小学校)



御所実業高校ラグビー部
(第96回全国高校ラグビー大会
準決勝の様子)

【今後の主な取組】

- ・全国募集を行う県立高校の部活動を支援(②9 2,377千円)
- ・ICTを活用して、南部・東部地域の小規模校の協働学習を活性化(②9 5,638千円)

【上記取組に対する成果目標】

- 就職を希望する生徒の就職率の維持(H28:100%)
- 全国大会等に参加し、上位入賞(3部)
- 教員や児童を対象としたアンケート調査において、児童の学習意欲や学力に関わる項目で、肯定的な回答をした教員や児童の割合が8割以上

(2)暮らしやすくする 教育の充実

【目標】

○教育・子育ての充実などを進め、南部東部地域で「住みたい」「住みやすい」と思う人の割合を増やします。

◇取組内容

○教育、子育ての充実を図ります。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

○奥大和地域において、市町村及び民間団体(地元住民)と協働で、高校生と小・中学生が主体的に取り組む地元への愛着心を育てるためのイベントをモデル的に実施

- ・モデル地域：吉野町、十津川村
- ・企画案の確定に向けた打合せを実施

○吉野町

・「国栖の里灯り」にて、児童・生徒が地域の魅力を発信する取組を実施(10月9日)

○十津川村

・児童・生徒により結成された「BON娘」の踊りを奥大和ゆうゆう祭(10月1日～2日)、バサラ祭り(8月27日～28日)等で披露



中学生の灯り作品が並ぶ「吉中友灯工房」(国栖の里灯りにて)



踊りを披露する「BON娘」
(奥大和ゆうゆう祭にて)

【今後の主な取組】

・モデル地域に対して、高校生小・中学生が主体的に取り組む地元への愛着心を育てるためのイベントを実施(29 1,520千円)

【上記取組に対する成果目標】

○モデル地域の小・中学生及び高校生に対するアンケートを実施し、「ふるさとに住み続けたい」と回答した児童及び生徒の割合を増加

(3) いざというときに備える 紀伊半島アンカールート^①の整備

【目標】

○災害による死者をなくす、人命を守ることを最大の目標に、できる限り被害を減少させます。

◇取組内容

○南部地域の活性化を図るとともに、大規模災害への対応力を強化するため、京奈和自動車道をはじめ国道168号五條新宮道路及び国道169号の早期整備を進めます。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

○京奈和自動車道

・大和御所道路(御所南IC～五條北IC)の工事促進

○国道168号五條新宮道路

・辻堂バイパス、十津川道路の工事促進

・阪本工区、長殿道路、風屋川津・宇宮原工区^②の設計・調査等の推進

○国道169号

・伯母峯峠道路の直轄権限代行による新規事業化

および設計・調査の推進

・高取バイパスの工事促進

【今後の主な取組】

・国道168号五條新宮道路の整備推進(29 1,399,580千円)

・直轄道路事業費負担金(南部・東部)(29 4,965,000千円)

【上記取組に対する成果目標】

○平成29年夏に京奈和自動車道(御所南IC～五條北IC)を供用

○平成29年度に国道168号辻堂バイパスを完成・供用

○平成32年度に国道168号五條新宮道路(奈良県域)の整備率を19%にする



(3) いざというときに備える 効率的・効果的な道路防災対策の推進

【目標】

○災害による死者をなくす、人命を守ることを最大の目標に、できる限り被害を減少させます。

◇取組内容

○災害への対応力を強化するため、災害に強い道路整備をはじめ、道路の防災・減災対策及び老朽化対策を効率的・効果的に推進します。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

- 災害に強い道路ネットワークの形成
 - ・紀伊半島アンカールートの整備
 - ・地域を支える主要な道路ネットワークの形成
国道309号 丹生バイパス(下市町丹生～長谷) 等
- 道路防災対策
 - ・法面や路肩の道路防災対策の推進
国道168号 (五條市西吉野町西野) 等
- 道路施設の老朽化対策
 - ・橋梁、トンネル、大型構造物の老朽化対策の推進
橋 梁 : 国道165号 天満橋 (宇陀市額井) 等
トンネル : 国道168号 助人トンネル (十津川村川津) 等
- 市町村管理道路施設の老朽化対策
 - ・市町村が管理する道路施設の点検・診断及び修繕工事を垂直補完・水平補完により支援

《道路ネットワークの形成》



平成28年8月6日供用開始

国道309号 丹生バイパス
(下市町丹生～長谷)

《道路防災対策》



平成28年4月15日撮影



平成28年6月20日撮影

国道168号 (五條市西吉野町西野)

【今後の主な取組】

- ・災害に強い道路整備ネットワークの整備推進(⑳ 3,445,570千円)
- ・道路災害防除事業(南部・東部)(⑳ 857,840千円)
- ・道路施設点検・診断事業(南部・東部)(⑳ 1,055,900千円)
- ・道路施設老朽化対策事業(南部・東部)(⑳ 1,117,339千円)

【上記取組に対する成果目標】

- 平成29年度中に国道369号 香酔峠工区(奈良市都祁吐山町～宇陀市榛原赤瀬)を部分供用します。
- 平成32年度までに道路法面防災の要対策箇所対策率を23%とします。

【担当部局】 県土マネジメント部

(3) いざというときに備える 防災力の向上と紀伊半島大水害の次世代への継承

【目標】

○災害による死者をなくす、人命を守ることを最大の目標に、できる限り被害を減少させます。

◇取組内容

○防災力の向上と紀伊半島大水害の次世代への継承を図ります。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

- 陸上自衛隊駐屯地の誘致
 - ・国への要望活動、誘致のための調査やイベントの実施
 - ・県南部陸上自衛隊駐屯地誘致推進協議会の設立
- 広域防災拠点の整備
 - ・新広域防災拠点の機能を精査した基本構想(第2期)を策定(3月)
- 自主防災組織の活性化、防災教育・啓発の推進
 - ・安全・安心まちづくりアドバイザーの派遣による支援(南部東部地域10回、557人)
 - ・地域の防災力向上ワークショップの実施(10/23五條市、11/6十津川村)
 - ・自主防災リーダーの養成(南部東部地域:12人)



近畿府県合同防災訓練
(五條市)



十津川村二村地区における
消火栓操作と放水訓練

【今後の主な取組】

- ・陸上自衛隊駐屯地誘致のため、国への要望活動、調査やイベントの実施 (②9 10,000千円)
- ・広域防災拠点整備等のための検討 (②9 3,500千円)
- ・奈良県防災の日・防災週間(7月～9月)に、県・市町村・関係機関等が防災訓練やイベント等を集中的に実施(②9 1,600千円)
- ・安全・安心まちづくり推進事業(アドバイザーの派遣、防災訓練支援、防災リーダーの養成など)(②9 3,581千円)

【上記取組に対する成果目標】

○地域の自主防災活動で活躍できる人材(防災リーダー)を平成30年度までに2,300人養成(平成28年12月現在 1,900人養成)

(3)いざというときに備える エネルギーの確保

【目標】

○災害による死者をなくす、人命を守ることを最大の目標に、できる限り被害を減少させます。

◇取組内容

○エネルギーの確保を進めます。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

○市町村等が実施する再生可能エネルギーの導入可能性調査を支援

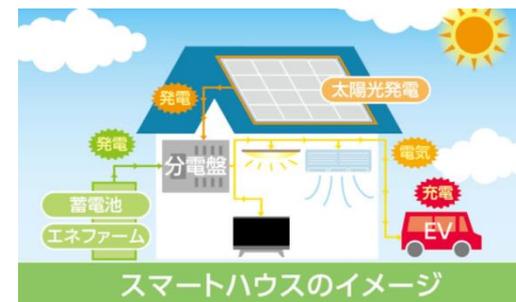
- ・補助金の公募
- ・補助金交付決定 2件(山添村、三郷町)
- ・実績確認 2件(山添村、三郷町)

○スマートハウスの普及を促進

- ・補助金の公募
- ・応募件数 382件
- ・普及実績 344件



小水力発電
(十津川村重里)



【今後の主な取組】

- 新 避難所にEVやLPガスを活用した非常用電源を整備(②9 8,000千円)
- ・再生可能エネルギーの導入可能性調査を支援(②9 4,000千円)
- ・スマートハウスの普及促進(②9 35,000千円)

【上記取組に対する成果目標】

○平成30年度までに再生可能エネルギー設備容量を平成26年度比で1.6倍にする

(3) いざというときに備える 紀伊半島大水害の復旧の完了

【目標】

○災害による死者をなくす、人命を守ることを最大の目標に、できる限り被害を減少させます。

◇取組内容

○紀伊半島大水害からの復旧の完了を図ります。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度まで>

○治山事業による復旧

- ・県実施箇所50箇所のうち42箇所完了(平成28年度末)、残り8箇所
- ・国実施箇所26箇所のうち5箇所完了(平成28年度末)、残り21箇所



民有林直轄治山事業 十津川村折立



復旧治山事業 川上村高原

【今後の主な取組】

・山地災害を防止するため、治山ダム等の施設整備を行い荒廃危険地等の復旧整備を行う。

<県実施中の8箇所>平成32年度に復旧完了。

治山事業 (29) 791,364千円)、県単独治山事業 (29) 77,990千円)

<国実施中の21箇所>平成33年度をまでに復旧完了。

民有林直轄治山事業費負担金 (29) 529,616千円)

(4) 移り住んでもらう 二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくり

【目標】

○南部・東部地域への二地域居住者・移住者を増加させます。

◇取組内容

○二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくりをします。

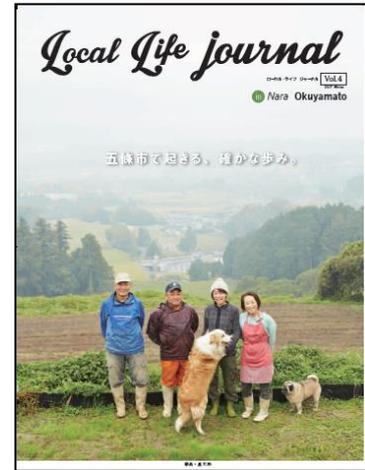
◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

- 移住者の交流拠点の開設(4月)
 - ・「奥大和移住定住交流センター～engawa～」に移住・定住相談員を配置(4月17日開設)
- 移住、二地域居住及び定住に向けた活動を行う地域受入協議会の設立を支援(申請5件)
- 奥大和移住・定住連携協議会の運営
 - ・路線別エリア会議を開催
 - ・地域住民を対象に移住情報や地域の魅力を掲載した「Local Life journal」を9月・2月に発行
- 移住体験ツアーの実施(R168号エリア、大和高原エリア)
- 阪神百貨店梅田本店で行われた手技工芸展に参加し、南部・東部地域の工芸品等のプロモーションと移住情報の発信を実施



奥大和移住定住交流センター「engawa」



「Local Life journal」 vol. 4

【今後の主な取組】

- ・奥大和移住・定住連携協議会にて、移住情報の発信や移住体験に関する取組を推進(②9 7,332千円)
- ・移住者の情報交換及び交流の拠点として「奥大和移住定住交流センター」に相談員を配置し、移住定住相談等を実施(②9 4,374千円)
- ・移住希望者に向けた情報発信、移住体験プログラム、イベントによるPRを実施(②9 3,290千円)
- ・地域受入協議会を支援する市町村への補助(②9 2,522千円)

【上記取組に対する成果目標】

○南部東部19市町村において、各市町村で1つ以上、地域受入協議会の設立を支援

(4) 移り住んでもらう 移住者の働く場の確保

【目標】

○南部・東部地域への二地域居住者・移住者を増加させます。

◇取組内容

○ふるさと創生協力隊等の配置やふるさと復興協力隊の起業を支援することにより、移住者の働く場を確保します。

◇これまでの主な取組成果

<平成28年度>

○ふるさと創生協力隊の配置

- ・南部・東部地域において、複数の市町村にまたがる広域的な地域振興活動に従事する人材を県で直接採用し、配置

○地域おこし協力隊員等が抱える課題解決に向けた意見交換や人脈づくりのための交流会を開催(7月・9月・12月)

○協力隊への起業支援

- ・ふるさと復興協力隊の任期終了を迎える隊員等に対し、起業に要する経費について支援(1名)



協力隊交流セミナーの開催



キッチンカーによる地域食材PR活動

【今後の主な取組】

- ・複数の市町村にまたがる広域的な地域振興活動に従事する「ふるさと創生協力隊」等の配置 (29 13,418千円)
- ・任期終了後の協力隊員の定住を図るため、起業・事業化に向けたセミナーや交流会等を実施し、起業等を支援 (29 3,674千円)
- ・奥大和地域への移住定住を促進するため、起業・事業化に向けたセミナーや交流会等を実施し、起業等を支援 (29 34,700千円)

【上記取組に対する成果目標】

○平成32年の人口の社会増減をプラスにする